

「gifted を授かって」

【自閉症、ADHD】
8歳女子

娘の発達障害が分かったのは2歳半の時、保育園での市の巡回相談でひっかかったのがきっかけでした。

園には赤ちゃんの頃から通っていたので他の子の成長と娘がちよっと違うのは前から気づいており、やっぱりそうだったんだと思ったのを覚えています。それから発達障害に関する本を読みあさり、勉強会へ参加し、病院や児童相談所での発達検査、診断、療育…。今、親が出来ることをとにかくやるしかない！と必死でした。

会話のキャッチボールができず、こだわりも強く、娘の世界の視野の狭さを感じていましたが、関わってくださったたくさんの先生や本人のがんばりのおかげで、今では娘の世界がだいぶ広がってきました。

3歳前に診断を受けて将来を不安に思っていた時、小児科の先生に「この子は gifted だよ」と教えてもらいました。「アメリカでは神からのプレゼントという意味の子に属するんだよ」と。その言葉をかけてもらった時、娘の存在を認めてもらえたような気がしてとても嬉しく、今でもこの gifted という言葉に度々救われています。

今、娘は地域の小学校の特別支援学級に毎日楽しそうに通っています。そして週に3回放課後等デイサービスにも通い、ニコニコで帰ってきてくれます。娘が生まれてきてくれなければ気づけなかった日々の小さな幸せがいっぱいあります。娘は気持ちの切り替えが難しいのですが、少しずつ自分で心のバランスをとろうと狭く暗い場所に入ってみたり、ハンモックで体を一定のリズムで揺らしてみたり、試行錯誤しています。

そして、当事者家族として、美容師である私にできる事。感覚過敏などでヘアカットが苦手なお子さんへのカットをする活動もしています。娘が生まれて来てくれなければ出会えなかった方々とカットを通して出会え、お互いに励まし合う事もあります。これからも日々色々な困難があると思いますが、娘の最高の理解者になれるよう、一緒に乗り越えたり、うまくよけたりして、共に成長していけたらいいなと思います。

モンナンジュ 飯塚市 検索

※発達障がいのお子さんが不安を感じないように、ご自宅へ出かけてヘアカットもしています。

いつも明るく前向きに

【ダウン症】
6歳男子

生まれてくるのがとても楽しみで仕方ありませんでした。

いざ生まれて顔を見たら「あれっ?!何かダウン症っぽい…」と強く感じました。他にも検査をしないといけない内容もあり、染色体の検査も受け、生後1ヶ月半でダウン症と診断されました。

以前、働いていた時にダウン症の子と接する機会があり、人懐っこいしカワイイな～と思っていましたが、まさか自分がダウン症の子を生むか思いもしなかったので正直「何で私が?」と思ったことはあります。これから先のこととかを考えたり不安もあったので、その時に一度だけ車の中で思いっきり泣きました。

それからは気持ちを切り替え、息子を色々な所へ連れ出し友達もつくりました。母親の私が人と話すことが好きで明るい性格だからか、息子もひょうきんで明るく、周りの人達を和ませ、優しい子に成長しました。病院の先生や市役所の人からの紹介で他のダウン症の子やそのお母さん達と知り合うこともでき、息子がいなかったらそれはなかったことなので、とても感謝しています。

偏見を持たれる方が今でも中にはいると思いますが、『ダウン症』という1つの個性は、人と人を繋げてくれる重要な宝だと思っています。息子は2歳を過ぎてから児童デイサービスに通所したり言語訓練に通ったり、毎日の人々との関わりで自分の意思を伝えたり、何でもがゆっくりではありますが、できることも確実に増え、生まれた時には思いもしなかったぐらい成長し、とても嬉しく思っています。

今年の4月から小学1年生になり、特別支援学級で難しいながらも一生懸命に勉強も頑張っているようです。

何も不安や心配なことはないと言ったらウソになりますが、息子がこれからも楽しく、笑って過ごせるように見守っていこうと思います。

